

# 秋の永代経のご案内

長善寺



この秋で孫は一歳になります。私が孫を見ている気持ちと祖父が私を見ていた記憶が重なったとき、四十年ぶりに祖父の恩があふれ出てきました。

その恩に報いたいと思いましたが、考えてみれば私が孫に恩を返して欲しいと思わないように祖父も思わなかったと思います。だから、その恩(贈り物)は次の世代に贈っていくしかないのです。そうやって伝わっていく贈り物(恩)は教育も同じですね。

そして、お念仏を伝えていくところこそ最大の贈り物(恩)だと感じた先人たちがいました。残すものは何もないけど、お念仏だけは相続してほしいと願われた方たちがいたのです。

阿弥陀様は恩(贈り物)を返して欲しいとはこれっぽっちも思っておりません。でも、私たちは自ずと阿弥陀様の御恩を報謝する様になるというのが「恩徳讃」のテーマです。そういう如来や善知識との豊かな関係がありました。

私たちは先に往かれた方たちとの出遇いを通じて、仏さまとの出遇い感じます。この出遇いを通じて同じ道を歩ませていただき、この道はお浄土に確かに至る道であることを、お浄土で相まみえることを共に慶びたいと思います。南無阿弥陀仏

## 一、日時 令和元年九月七日(土)

日中 十時 粗食ながら昼食を準備しています。

逮夜 一時 お勤め 法話自坊にて

日中：正信偈念仏・和讃・法話「浄土を求めるとの煩悩」

逮夜：大無量寿経・和讃・法話「お浄土はどこにあるの？」

## 一、永代経加入のご先祖

様

お知らせ

報恩講は十月二六・二七日(土・日)を予定しています。